



人とくるまのテクノロジー展2008

特別講演レポート 5月21日(水)~23日(金)
in パシフィコ横浜 展示ホール



5月23日、横浜。最終日も快晴。年々人気が高まり、過去最多の来場者数を記録(3日間で延べ70,040名)。当社ブースも多くの来訪者に恵まれました。最終日の23日は佐川急便株式会社 亀田英夫様にご講演いただき、100名定員の会場は立ち見が出るほどの大盛況となりました。

ITを活用した安全管理について(SRVideoの有効活用)

「安全運転管理とドライブレコーダー」~安全が全てに優先する~

佐川急便株式会社

人事・安全管理部 安全推進担当部長 亀田 英夫 様



会社概要

佐川急便株式会社

東京本部所在地：東京都江東区新砂2丁目1番1号
TEL 03-3699-3630
FAX 03-3699-5810

営業所：354営業所

関連会社：国内11社 国外19社

創業：1957年3月

代表者：代表取締役社長 栗和田 榮一

事業内容：宅配便など各種輸送にかかわる事業

従業員数：36,236名

車両台数：24,794台※2008年3月期

SR導入：2005年度
国土交通省EMSモデル事業に参加
11営業所335台にSRを装着
2008年5月現在
SRVideo 4,136台装着済み

2007年3月に創業50周年を迎えました。1957年創業以来、事業の拡大を続け、現在、SGホールディングスグループの中核会社として、宅配便事業の強化・拡大に加え、グループ各社と連携し、物流のトータルソリューションの提供を図ってきました。今後は環境保全および各種社会活動をより一層推進することにより、全ての方々から選ばれる企業をめざしてまいります。

SR導入の効果

1. 事故件数の削減

2000年事故発生指数100→2004年37! **63%減!**
2005年SRVideo 導入→2007年事故発生指数29! **さらに23.7%減!**

SR導入3年

2. 燃費約14%向上!

2005年SRVideo導入後11%向上
(335台の平均で4.7km/ℓ→5.2km/ℓ)!
2006年上期管理者にエコドライブ研修実施後
→**2008年には14%向上(5.42km/ℓ)!**

3. 危険地点の情報共有

安全に関する会話が增えた!

事故発生指数推移

(平成12年を100とした場合) □指数



燃費推移

(平成16年を100とした場合) □燃費



SR導入の経緯

継続的に取り組んできた安全運転教育の成果を、客観的に測る方法を探していました。正しい運転ができていれば褒め、できていなければ指導したい。交通事故を未然防止するために、安全運転や防衛運転を徹底させたいと悩んでいた中、データ・テック社のSRを知りました。SRを試験導入した結果、添乗指導でしか知り得なかった運転領域を確認できることがわかりました。そしてデータ・テック社SRVideoの開発時より意見交換し、さまざまな要望を伝えてきました。2005年のEMS普及モデル事業への参加が後押しとなり、SRVideoを本格導入しました。

SR導入以前からさまざまな安全対策によって大幅に減少させてきた交通事故が、2004年から一旦横ばいとなりましたが、2006年より再び減少を続けています。

「安全」への取り組み ~SRは教育の成果を測れるもの~ SRと連動させ、さらなるエコ安全ドライブへ!

徹底した安全への取り組み

SR受け入れ態勢も万全! 佐川急便のシステム管理

佐川急便の人と物と車の流れ全体は、一括管理されています。

- 点呼業務
- 運転者管理乗務(勤怠)管理
- 車両管理
- 交通事故
- 人事・労務管理など

各個人について、あらゆるデータを一元管理(SRのデータもその中に組み込まれています)。ドライバーについての必要な情報が取り出せ、指導にも生かされています。

① 交通安全への取り組み

安全意識の向上と交通事故の未然防止に対する取り組みとして、2002年3月21日より昼間ライト点灯運動、社内では「D.L.D運動(デイトタイム・ライティング・ドライブ)」を実施しています。また、2003年度から『未来ある子供たちの生命を悲惨な交通事故から守る』ため「さがわきゅうびん交通安全教室」を全国で開催しています。営業店の社員が主体となって、地元の幼稚園や小学校の子供達などを対象に実施。教育機関や警察などと共同開催させていただく機会が増えています。

■ 昼間ライト点灯運動



▲ D.L.D(デイトタイム・ライティング・ドライブ)運動と名づけ、全国の集配車両(約2万台)がヘッドライトの昼間点灯運転を実施

■ 交通安全教室



▲ 2007年度
実施回数769回 受講人数121,660名
▲ 2003年度からの累計
実施回数3,726回 受講人数460,899名

② エコ安全ドライブの推進・安全運転の基本要領

安全・環境への対応としてエコドライブを推進するため、エコ安全ドライブ7ヶ条を定めています。急加速や急停止など「急」のつく運転行為を控えた優しい運転により「安全、環境、経営」に大きな効果が得られます。また、右左折時、横断歩道のある交差点では、横断歩道の手前で一時停止し運転姿勢を変えて安全確認するなど、乗車・発進から降車・駐車まで安全運転の基本要領を基に指導しています。特に交通防止のポイントとなる安全運転徹底7項目を定め、管理者は正しい運転ができているか定期的に添乗指導を行い、添乗指導書に基づいて運転行動をチェックしています。その後、指導した内容が正しく実践されているか街頭で繰り返し検証し、正しい運転の浸透をはかっています。ドライバー各自の安全意識を高めるため『添乗指導』と『街頭検証』が欠かせません。

▲ シグナルカード

- 添乗指導記録
添乗指導書をもとに運転行動をもれなくチェック。記録はすべてシステムに登録される。
- エコ安全ドライブ7ヶ条
急加速や急発進を発生させないやさしい運転を推進
- 街頭検証
管理職から社員に至るまで現場で「検証と指導」を繰り返し実施

③ セーフティマップで危険箇所情報を共有

ドライバーの担当エリアには、危険な交差点や、地域から通行や駐車が禁止されている場所、交通事故発生地点などがあります。また、社内ではバックする場所はあらかじめ申告させるなど固有の情報がありません。これらを社内では「セーフティマップ・book」と名づけ作成させています。これによりコースのドライバーと代走者が情報共有できると共に、新入社員やコース変更時などの引き継ぎにも活用されています。ドライバーの危険箇所に対する意識向上に伴い申告も増え「知らなかった」「聞いていなかった」が原因の事故防止に役立っています。

▲ セーフティ・マップ・book

「日ごろの運転行動を確認できないものか」...SR導入で新たな取り組みがスタート

さまざまな安全運転への取り組みをしていく中で、運転行動を客観的に測り数値化できる方法はないのか?という強い思いがありました。SRは①運転習慣の安全度が点数で出る、②バックの状況がわかる、③ヒヤリハットや危険な挙動を映像で確認できるツールでした。帰社したドライバーが自ら結果を確認。自分の運転の弱点に気づき、「正しい運転方法を進んで学ぼう」とするなど、ドライバーの行動が変わりました。



▲ 「運転診断結果」で点数チェック

ドライバー自ら、わかりやすく
日常運転を確認することができる

- ✔ 運転の基本動作は守られているだろうか?
- ✔ 教育の成果を測りたい。
- ✔ 指導したとおり公道で運転できているだろうか?
- ✔ 正しい運転ができたら褒めてあげたい。
- ✔ 間違った運転をしていたら正しい運転を教えたい。

SRの現場活用方法

ドライバーの意識改革

SRはバック走行を含めた運転の状況を記録できます。運転習慣を点数や映像で簡単に確認できるので、ドライバーは自ら運転習慣の欠点に気づき、どうしたらよいかを考えるようになりました。管理者からの指摘ではなく、自ら気づき改善への行動をとる。SRは運転者への動機付けの重要な役割を果たしてくれます。



▲SRVideo 搭載車(室内)



どの画面でも
「詳細画面へ戻る」
ボタンですぐに戻れる

▲佐川急便で活用している「SRV 安全解析ソフト」
(現在全国 50 社以上の企業で利用されている)

佐川急便で活用しているSRデータ例

危険予知トレーニング(KYT)シート

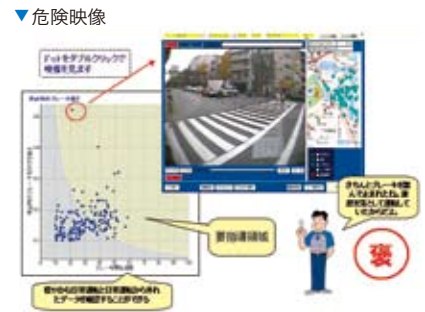
SRは実際に起こったヒヤリハットを動画で確認できます。また映像はKYTシート(危険予知トレーニングシート)としてプリントし、具体的なヒヤリハットに活用できます。仲間の体験なので説得力が違います。日頃よく通るルートが題材になるため話題も豊富。また他の営業店にも発信でき全社的な情報共有が可能になりました。



▲危険予知トレーニングシート

ヒヤリハットの共有

ドライバーが経験したヒヤリハット体験を危険映像として収集。現状、それらの発生状況を調査しています。収集した情報や映像を定期的に全国のドライバーに視聴させます。ヒヤリハット体験を共有することが次の事故の芽を摘み取る対策となっています。



▼危険映像



講演者インタビュー

佐川急便株式会社 亀田様、佐々木様

今後の展開 「危険エリア進入」テスト機導入



Q1

SRを導入してよかったことは?

SRの安定した評価システムはドライバーに対し平等で客観的です。ドライバーが自分で考えて運転行動を改善する努力をしてもらえることがとても大きな変化でした。ドライバーが客観的に自分の運転について反省し、自ら考えることで問題解決力の向上に大きく寄与しました。多くの危険を回避する力が事故の未然防止につながっています。

Q2

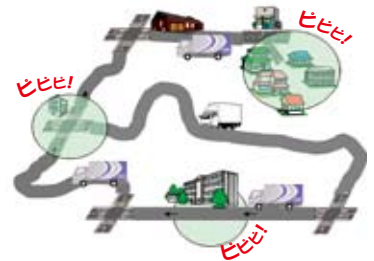
安全教育について特に気をつけていることは?

指導の中での正しい言葉の使い方です。例えば褒め言葉と注意する言葉の順番を変えるだけでも、相手に与える影響が大きく違います。またレッテル効果と言うのでしょうか、「〇〇さん、今日も点数すごくよかったじゃない!」と声を掛けると、そのドライバーは「明日もよい点数をとろう!」と、自然に安全運転に努めるようになってくれるのです。

Q3

今後の新たな展開はありますか?

データ・テック社との共同の取り組みで、2007年12月から危険エリア進入時にハザード機能を追加するテストをしています。これはセーフティマップ・bookに記録された危険エリアなどを登録すると、エリア進入時にアラームが鳴ると同時に、映像が記録される機能です。危険エリアに進入したことをドライバーに知らせることで危険予知を促します。例えば、気持ちが良い高速道路走行後、一般道に入ったすぐの右左折地点や、飛び出しが多くなる登下校時間帯のスクールゾーンなど、時間帯毎の登録も検討しています。6月よりテスト運用を開始しました。



自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2008 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION

データ・テックブースご紹介

- ① **新製品展示!** SRDigitacho, SRDigitacho+ を展示、ご紹介しました
- ② **日本初展示!** ヨーロッパでデモ展開しているセーフティレコーダオンラインシステム The SAFRecorder System を展示、ご紹介しました
- ③ 自社ブース内で製品紹介プレゼンテーションを実施しました(写真)



第7回 SRお客様交流会を開催いたします

「SRを中心とした安全と環境への対策」をテーマに、SRを導入されたお客様による事例についてのご講演を企画しております。是非ご出席のうえ経験交流、意見交換の場としてご活用ください。

(事前登録制)

- ◆ **会期** 2008年7月11日(金)
- ◆ **時間** 11:00~19:00
- ◆ **会場** 大田区産業プラザ PiO
4F コンベンションホール

第7回SRお客様交流会 ご講演内容(予定)

「東ト協最重要課題 / 安全と環境について」

— 具体的取り組みとその成果(中間報告) —
社団法人東京都トラック協会
環境部 部長 遠藤 啓二 様

「組合の事故防止対策事業について」

— SRによる安全運転指導方法 —
九州トラック交通共済協同組合
安全推進部 安全推進課 部長 嘉村 公成 様

「セイフティレコーダは観るより意識させるもの」

日隆産業株式会社
姫路営業所 運行管理責任者 川原 進 様

「SR(セイフティレコーダ)で安全マネジメントとエコドライブ促進！」

東京空港交通株式会社
運行本部 運行管理部次長 伊東 祐一郎 様

株式会社 **データ・テック** セミナー紹介

SR定期セミナーを開催しています

当社ではアフターフォローの一環として、SR 定期セミナーを開催しております。

SRを導入してくださったお客様を中心に、SRの操作方法から点数を基に、どのようにドライバーと話をしたらよいかなど、参加者同士で意見交換が行われます。体験に基づくアドバイスなども数多くいただいています。

スケジュール

参加には、**事前申込み**が必要です。

	8月	9月
東京SR定期セミナー (株)データ・テック東京本社	8/22(金)	
大阪SR定期セミナー 大阪厚生年金会館		9/19(金)

※イベント日程、会場等は都合により変更する場合があります。
変更になる場合は事前にご連絡いたします。

展示会情報 —— データ・テックホームページで事前登録受付中!

国際物流総合展2008

Asia's Largest Material Handling & Logistics Exhibition
LOGIS-TECH TOKYO 2008

未来を創造するロジスティクスイノベーション
—人と環境にやさしい物流システム—

日時: 2008年 9月9日(火) ~12日(金)
10:00~17:00

会場: 東京ビッグサイト(東京国際展示場)

入場登録料: ¥1,000 ※招待状・事前登録証をご持参の方は無料

データテック展示内容

新製品展示! SRDigitacho, SRDigitacho+ を展示、ご紹介します

デモ展開中 ヨーロッパでデモ展開しているセイフティレコーダオンラインシステム
The SAFEcorder System を展示、ご紹介します

自社ブース内で製品紹介プレゼンテーションを実施する予定です

プレゼンテーションセミナーA 9月11日(木) 13:40 ~ 14:10

セイフティレコーダ導入企業による安全・エコドライブ活用事例紹介
~ Airport Limousine でおなじみの東京空港交通株式会社様をお招きして~
会場: セミナーA会場

トラック輸送セミナー 9月12日(金) 14:00 ~ 14:40

セイフティレコーダ導入企業による安全・エコドライブ活用事例紹介
(発表会社未定)
会場: トラック輸送セミナー会場



SR Digitacho